

1 事業概要

		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	344
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	単年度
		開始	S51	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			教育振興基本計画	
				スポーツ推進計画	
	法令・例規等				
事業目的	対象	学校開放施設（体育館・校庭・武道場）の数：（施設56）			
	意図	利用者が安全で良好な環境で利用できるよう維持管理する。			

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・学校体育施設を地域に開放するため、良好な環境で使用されるよう維持管理を行いました。 ・学校開放施設の運用にあたり各公民館と連携を行い、利用調整と施設の適正管理を図りました。 （電気・水道 消耗品 浄化槽点検等）		社会体育学校開放施設管理経費				9,497	
			その他の経費				689	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	年間の利用者数	人	509,857	483,675	508,610			
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0	0	0			
30年度 決算 (千円)	予算額	10,665	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	10,186	(そ) 社会体育学校開放施設使用料					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	110					
一般財源	10,076							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	3	10	1	10,665	10,186	社会体育学校開放管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	身近な体育施設として維持管理・運用面で適切に管理していくことが求められます。
上記の課題解決のための有効策	公民館・学校と連携し、維持・管理していく必要があります。
次年度に向けての取り組み	公民館・学校と連携し、施設の状態を良好に保つよう維持管理に努めます。